

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-24220

(43)公開日 平成6年(1994)3月29日

(51)Int.Cl.⁸

F 1 6 B 13/14

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平4-66187

(22)出願日 平成4年(1992)8月31日

(71)出願人 000124096

加藤発条株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

(72)考案者 有坂 洋

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

加藤発条株式会社内

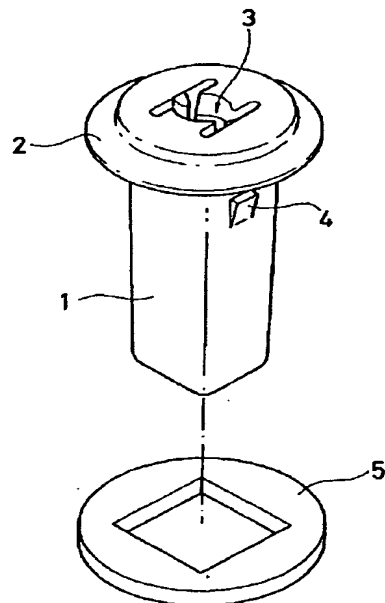
(74)代理人 弁理士 市橋 俊一郎

(54)【考案の名称】 スクリューグロメット

(57)【要約】

【目的】 シール性の良好なスクリューグロメットの提供。

【構成】 一方が開口するグロメット本体1と、該グロメット本体1の開口縁に形成されたフランジ2とから成り、フランジ2下面にシールワッシャー5を装着してなるスクリューグロメットにおいて、シールワッシャー5を熱溶融又は熱軟化する樹脂材料で成形することにより、パネルに飾り材等を重合固定する前に、フランジ2の下面に当該シールワッシャー5を装着して、グロメット本体1をパネルの取付孔に仮止めした状態を得て、所定の温度に加熱すると、シールワッシャー5自体が溶融又は軟化して、フランジ2下面とパネル表面を緊密に接合するので、これにより、従来の発泡ワッシャーと比較すると、フランジ2下面とパネル表面間のシール性が顕る向上すると共に、パネル側に固定された飾り材等がガタつく心配もなくなる。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 一方が開口するグロメット本体と、該グロメット本体の開口縁に形成されるフランジとから成り、フランジ下面にシールワッシャーを装着してなるスクリューグロメットにおいて、上記シールワッシャーを熱溶融又は熱軟化する樹脂材料で成形したことを特徴とするスクリューグロメット。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例に係るスクリューグロメットを示す分解斜視図である。

【図2】 グロメット本体をパネルの取付孔に仮止めした状態を示す断面図である。

【図3】 シールワッシャーが熱溶融又は熱軟化して、フ*

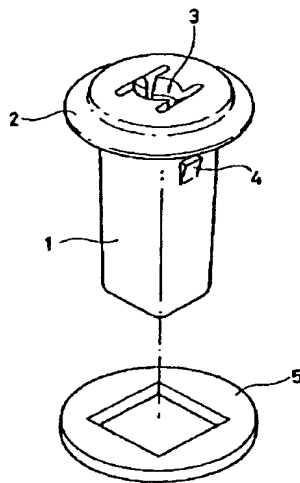
* ランジ下面とパネル表面間をシールした状態を示す側面図である。

【図4】 パネルに飾り材を重合固定した状態を示す側面図である。

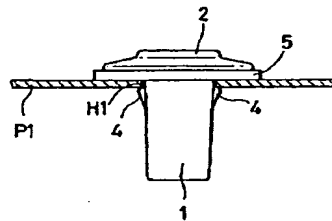
【符号の説明】

- 1 グロメット本体
- 2 フランジ
- 5 シールワッシャー
- P1 パネル
- H1 取付孔
- P2 飾り材
- H2 通孔

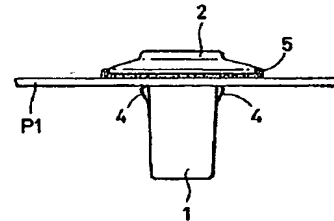
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

